

## 経済学部卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

経済学部では、教養教育を通じて批判的思考・論理的表現の汎用力を修得し、さらに言語・数理の基礎力及び国際的・学際的感覚を身に付けると同時に、演習等の専門教育を通じ、所属する学科で指定した能力を身に付けた者で、定められた年限在学し、所定の単位数を修得した者に学位「学士（経済学）」を授与する。

## 学科卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

### ○経済学科

#### 【知識・理解】

- 1 経済学の理論・歴史・制度・政策等の領域について幅広く学び、考察対象となる社会経済の発展や変革、社会の要請について正しく理解している。
- 2 経済学の分析手法や経済学的思考法について系統的に学び、経済社会の諸問題を取り扱う科学的方法について高度な知識を有している。

#### 【態度・志向性】

- 1 積極的な意思疎通により他者と協調し、時にはリーダーシップを発揮することで自らが成長するとともに、組織や他者を支えることができる。
- 2 社会や組織における問題の解明と解決を常に志向し、自律的かつ継続的に様々な学修課題に取り組むことができる。
- 3 経済学の学修を通じて論理的、客観的な分析力と多角的視野に基づく問題解決力を培い、もって社会や組織の発展のために行動できる。

#### 【汎用的技能】

- 1 社会科学の理論を理解するために必要な数理的知識とデータ処理に関する基礎的技能を身に付け、変化の激しい情報社会に対応することができる。
- 2 批判的思考を繰り返しながら分析結果や自身の考えを論理的にまとめ、表現することができる。
- 3 多様な価値観、社会のあり方を理解するとともに、外国語によるコミュニケーションを通じて、自身の文化や独自性を再確認することができる。
- 4 経済学、経営学の理念や目的を理解し、専門的な学びへと進む際の基本的視点を持つことができる。

### ○経営学科

#### 【知識・理解】

- 1 経営、マーケティング、会計、財務、法律等のビジネスについて幅広く学び、企業活動の全体像や、社会の発展に企業が果たしてきた役割、また社会から企業への要請について理解している。
- 2 自ら選んだ特定の分野について専門的に学び、高度な知識を修得するとともに、企業が直面する諸課題について自律的に問題解決へ取り組む能力を修得している。

#### 【態度・志向性】

- 1 積極的な意思疎通により他者と協調し、時にはリーダーシップを発揮することで自らが成長するとともに、組織や他者を支えることができる。

- 2 社会や組織における問題の解明と解決を常に志向し、自律的かつ継続的に様々な学修課題に取り組むことができる。
- 3 多様な人々や理論と歴史から学び、信じる価値の実現に率先して取り組むとともに、実行可能性を踏まえ、現代的倫理と規範に従って組織の活動が行われるよう人々を主導できる。

#### 【汎用的技能】

- 1 社会科学の理論を理解するために必要な数理的知識とデータ処理に関する基礎的スキルを身に付け、変化の激しい情報社会に対応することができる。
- 2 批判的思考を繰り返しながら分析結果や自身の考えを論理的にまとめ、表現することができる。
- 3 多様な価値観、社会のあり方を理解するとともに、外国語によるコミュニケーションを通じて、自身の文化や独自性を再確認することができる。
- 4 経済学、経営学の理念や目的を理解し、専門的な学びへと進む際の基本的視点を持つことができる。

#### ○国際学科

##### 【知識・理解】

- 1 国際経済・国際経営の現状理解に必要な、経済・経営に関する基本的・応用的知識を有している。
- 2 国際社会で活躍するために必要な政治・社会・歴史・法律などに関する幅広い理解と十分な語学力を身に付けている。

##### 【態度・志向性】

- 1 積極的な意思疎通により他者と協調し、時にはリーダーシップを発揮することで自らが成長するとともに、組織や他者を支えることができる。
- 2 社会や組織における問題の解明と解決を常に志向し、自律的かつ継続的に様々な学修課題に取り組むことができる。
- 3 国際事情に関する幅広い知識を身に付けることで自己を相対化し、偏見を持たず客観的な態度で問題に対応できる。

##### 【汎用的技能】

- 1 社会科学の理論を理解するために必要な数理的知識とデータ処理に関する基礎的スキルを身に付け、変化の激しい情報社会に対応することができる。
- 2 批判的思考を繰り返しながら分析結果や自身の考えを論理的にまとめ、表現することができる。
- 3 多様な価値観、社会のあり方を理解するとともに、外国語によるコミュニケーションを通じて、自身の文化や独自性を再確認することができる。
- 4 経済学、経営学の理念や目的を理解し、専門的な学びへと進む際の基本的視点を持つことができる。

※上記は 2022 年度以前入学の学生に適用されます。